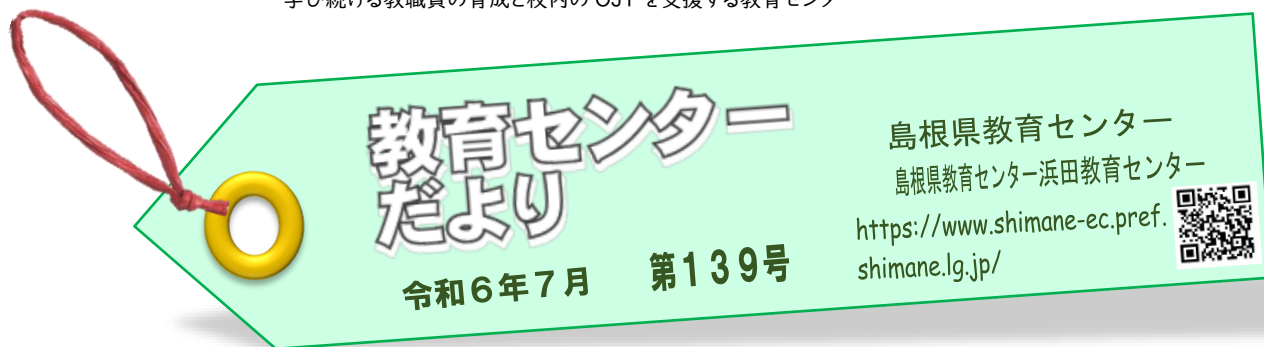




「不 易」

島根県教育センター 所 長
島根県教育センター浜田教育センター 長

大場 尚樹



日頃は、島根県教育センター及び島根県教育センター浜田教育センターの事業につきましてご理解・ご支援をいただきありがとうございます。当センターは今年度も「学び続ける教職員の育成と校内のOJTを支援する教育センター」をスローガンとし各種事業を実施しております。

さて、2022年に米国のキャリアコーチであるブライアン・クリーリー氏がSNSで使い、急速に広がった「Quiet Quitting」という言葉をご存じでしょうか。「静かなる退職」と訳せるこの言葉は、文字通りの仕事を辞めることを意味しているのではなく、定められた以上には仕事に取り組まない働き方を示すようです。当時、この言葉は瞬く間に世界中を駆け巡り、米国の経済誌や英国の大手一般新聞をはじめとした様々な媒体で取り上げられました。新型コロナウイルスの感染拡大を契機に広がったりリモートワークが、働くことに対する人々の考え方に少なからず影響を与えたということでしょうか。

「静かなる退職」という言葉を教職員に当てはめて考えるとき、教職員給与特別措置法の見直し等の処遇改善や働き方改革、福利厚生の実施だけでなく、教職の魅力や価値を感じる契機となるような、研修や教育情報の提供・支援を行うことにより、教職員の皆様の教職に対するモチベーションや情熱、使命感を高めていくことが重要ではないかと改めて感じます。

先日、「令和5年度島根県内高校3年生を対象とした進路決定に関する意識等の把握に係る調査」のアンケート結果が公表されました。5年前（平成30年度）の前回調査との比較も示されています。「県内への進学や就職を決めた理由」について「自分が今住んでいる地域や島根県が好き」との回答は24.2%から30.4%に、「地域への意識」について「生まれ育った地域への愛着や誇りがある」の肯定的な回答は84.2%から86.6%に増えていました。

この結果の背景は様々あるとは思いますが、島根県がこれまでも力を入れて取り組んできた、幼児教育施設における地域と連携した保育・教育、小中学校におけるふるさと教育、高等学校を中心とした地域課題解決型学習等の大きな成果であることは間違いありません。精一杯の愛情と熱意をもってこれらの保育・教育に取り組んでいただいている、県内すべての教職員の皆様の労をねぎらうとともに、敬意と感謝をこの紙面をお借りしてお伝えしたいと思います。本当にありがとうございます。上述のアンケート結果のような努力の成果の一端を様々な形で伝えていくことで、教職の価値を再認識していただければ幸いです。

時代や社会が変化しても、子どもたちの成長を実感できる喜び、ともに学ぶことで共有できる感動、教育が実を結んだときの達成感等、教職には多くの魅力があります。働くことに対する考え方・価値観が多様化する中であっても、島根県教育センター、島根県教育センター浜田教育センターは、教職員の皆様が教職の魅力や価値、やりがいを感じながら自信と誇りをもって職務に邁進していただけるよう、研修等の事業の充実に努めて参ります。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

令和 6 年度 教育 研究 発表 会

島根県教育センター、島根県教育センター浜田教育センターの共催で教育研究発表会を行いました。今年度は、〔第 1 部〕として 5 月 10 日～6 月 28 日に研究発表と研修報告をオンデマンド配信し、〔第 2 部〕として 5 月 18 日に講演をライブ配信（5 月 20 日～6 月 28 日にアーカイブ配信）で行いました。たくさんの方に視聴していただきました。ありがとうございました。配信の内容、講演への感想をご紹介します。

講演 「ウェルビーイングの実現と令和の日本型学校教育がめざすもの ～ICT 活用を手段に～」

講師 学校法人桐蔭学園 理事長 桐蔭横浜大学 教授 溝上 慎一 氏

1970 年生まれ。大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒業、1996 年京都大学助手、2000 年講師、2003 年京都大学准教授、2014 年教授を経て、2019 年学校法人桐蔭学園理事長。桐蔭横浜大学学長（2020～2021）。京都大学博士（教育学）。



指導主事共同研究	長期研修員研修報告
◇島根の子どもの資質・能力を育む授業づくり ～授業構想において大切にしたいポイントの検討～ 島根県教育センター企画・研修スタッフ ◇学びの変容を実現させる授業改善のための効果的な ICT 活用の推進 についての一考察 島根県教育センター研究・情報スタッフ ◇通常の学級における子どもたち一人一人の教育的ニーズに応えるために ～生徒指導・教育相談と特別支援教育の視点を融合させて～ 島根県教育センター教育相談スタッフ ◇学校の自走をアシスト！自立した学習者を育てる校内支援プログラムの 作成 浜田教育センター研究・研修スタッフ ◇学校現場の「学級づくり」を支える教育センターの取組 ～スリンプル・プログラムのスムーズな導入に向けて～ 浜田教育センター教育相談スタッフ	◇子ども一人一人がいきいきと学びに向かう姿を目指して ～学級の担任がおこなう「読み書きのアセスメントや支援」に おいて大切にしたいこと～ 長期研修員（島セ）須貝 菜津子 ◇心をむける ～子どもたちのことをわかるために心にとどめたいこと～ 長期研修員（島セ）青木 リリ子 ◇幼小の架け橋期における感情に焦点化した一次的支援の充実 長期研修員（浜セ）太田 景子 ◇児童の適応行動を増やすためのチームで取り組む支援の在り方 長期研修員（浜セ）岡野 綾美

～いただいた感想から～

〔講演について〕

・講演をお聞きし、今求められている学校教育について整理することができました。主体的・対話的で深い学びをきちんと理解し、個別最適な学びや協働的な学びがどこまで必要なのかを考えつつ、現行の学習指導要領の確実な実施に向けて取り組んでいきたいと思いました。また、ウェルビーイングの視点を持っていくことで、教科の学習を自己のキャリア形成と関連付けながら、生徒の主体的な学びを後押しできる可能性があると感じることができました。大変ありがとうございました。

〔指導主事の共同研究について〕

・「個別最適な学び」と「協働的な学び」について知りたいと思っていたので、とても参考になりました。紹介していただいた「ぴったん個ラボ・OJT」や「充(10)実 NAVIGATION」を見たいと思います。

※「ぴったん個ラボ・OJT」「充(10)実 NAVIGATION」は島根県教育センターHPからご覧いただけます。

島根県教育センターHP ⇒ 調査・研究 ⇒ 研究成果物 ⇒ 浜田教育センター ⇒ 研究・研修スタッフ
「Well-being な生き方を目指して～個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実～」

ICT 活用が進む学校の特徴は？

GIGA スクール構想が始まり、この 4 月で 4 年目となりました。全国各地では ICT をとにかく使う段階から学びの変容を伴う授業改善の段階へと移行が進んでいます。一方で、地域間、学校間、教員間の活用状況の差が広がっています。皆さんの学校ではいかがでしょうか。

昨年度の研究・情報スタッフの指導主事研究では、先進的な取組が進む県外の学校や授業改善に果敢に挑む県内の学校を訪問し、それらの学校に共通する ICT 活用推進のための要素について考察しました。

GIGA スクール構想で整備された ICT 環境はクラウド活用を前提とした全く新たなものです。ICT の活用がそれぞれの学校に合った形で推進できるように、今回の成果を生かした取組を進めていきたいと考えています。研究の詳しい内容については、島根県教育センターホームページからご覧いただくことができます。

みんなで授業改善に取り組んでみよう! ~小・中学校研究主任等研修(悉皆)~

本年度、小・中学校研究主任等研修を悉皆研修として実施することとなりました。この研修は、各学校の研究主任の先生方に校内研究・研修の推進方法についてご提案し、校内研究・授業改善についての実践意欲を高めていただくことを目的としています。働き方改革の名のもとに「校内研究なんて時間の無駄」、「研究授業1時間さえやり過ぎせばいいのでしょう」そんな声が聞こえてくる昨今、研究主任を拝命された先生方が、肩身の狭い思いをしながら細々と校内研究を進めている…。本当にそれでいいのでしょうか。

この課題に対処すべく、本年度は、オンデマンド研修1回+悉皆研修2回+希望参加研修3回を計画しました。

オンデマンド研修では、新任の先生が困らないように研究の基礎・基本を学びました。第1回と第5回は半日の悉皆研修です。その間に研究推進の相談にのれるように3回の希望参加の研修(放課後30分)を設定しています。

本研修の第1回では、校内研究・校内研修をどのように進めていけばよいのか 熊本大学 特任教授 前田康裕 先生を講師としてお招きし、オンラインで研修を行いました。ご存じの方もいると思いますが、前田先生は、「まんがで知る〇〇の学び」シリーズの著者でいらっしゃいます。

前田先生の講話から

従来の授業研究会	リフレクションを促す授業研究会
1、授業者の自評 2、質疑応答 3、意見交換 (挙手指名型) (ワークショップ型) 4、助言	1、授業者の自評 2、タブレットで一斉に記入 (良かった点と改善点) 3、対話による改善のアイデア
課題 研究授業のみの議論になって 参加者の授業改善につながらない 助言者に依存していないか?	4、対話によるポイントの概念化 5、対話による自分の授業の改善点 6、全体の振り返り(学んだこと)

前田先生の講義資料から

- ・「**教師の学びは子供の学びの相似形**」子供達に対して、「主体的で、対話的で、深い学び」の視点での授業改善を図るというなら、先生方の学び(授業改善)も、主体的、対話的で、深い学びの視点での学びにしていきましょう。
- ・年間1時間の研究授業をするより、日々の授業改善が大切。
- ・まず、教職員**みんなで児童・生徒・自分の授業について実態把握**してみましょう。
- ・授業改善についての**めあてを各自が立て**、実践してみましょう。(振り返りを必ずしよう、対話の時間をとろう、ICTを使ってまとめをさせよう…etc.)
- ・実践についての**情報交換**を行います。(うまくいっていないことも出して、意見をもらう。改善策を考える。)
- ・実践発表会を行ってみましょう。(短い時間でもICTを活用して、次年度への実践意欲を高められるように。)
- ・他者の具体的な取り組みから大切だと思うことを**概念化して自分の取り組みに生かす**ことが大切です。
- ・実態把握、情報交換、実践発表には、**ICTを活用**してみましょう。

前田先生の講話の後、自校の実態を基にしながら、実践できそうなことについてブレイクアウトルームで同じ地区の先生方と情報交換を行い、その後、自校の取組を構想シートにメモをしてさらに情報交換しました。担当の派遣指導主事、センター指導主事もグループを回り、今後の取組についての相談にのりました。研修後アンケートを見ると研究主任の先生方にも大きな学びがあったことが窺えます。

- ・教師が教える授業ではなく、子どもが学びとる授業づくりをしていかなければいけないなと思いました。・先生方が、自分の授業を振り返り、問題点を明らかにして、授業改善をしていく方法が、先生方の主体性を高めることができて、いいなと思った。・実践したことを抽象化して、概念化、さらに具体化して新しい実践をしていくことが、難しいけれど面白いなと感じました。
- ・対話によって、リフレクションを促す授業研究会のあり方について 一部の人のみが活躍するのではなく、参加者全員が「自分ごと」になるような授業研究会を計画していきたい。・「具体」→「概念化」→「具体」の過程について「あの学校だからできる」「あの先生だからできる」で終わっていた授業研究会について、どうしてそのように感じていたのかを理解できた。「概念化」が欠落していたことが分かったことは、大きな学びだった。

現在、第2回目の希望研修を行ったところです。受講者は10名と少ないですが、指導主事と個別に相談でき、大変好評でした。また、先日校長先生方を対象にした**校長学校経営実践研修**でも、前田先生に講話をしていただきました。今後、教頭先生方を対象にした学校運営研修でも同様の研修を予定しています。管理職の先生方からも研究主任の取組をバックアップしていただけることと期待しています。

能力開発研修（研修番号1143）のご案内

私たちと一緒に学びませんか？



浜田教育センター教育相談スタッフ特別支援教育担当です。昨年度、学校訪問や研修講座等でたくさんの先生方とお話をさせていただきました。その中で「思春期における知的障がいのある子どものメンタルヘルス」に関する悩みや相談等が複数あがってきました。そんな現場の先生方の声から今年度の講座内容を考えました。

令和6年度 特別支援学校・特別支援学級における授業づくり講座

～思春期・青年期の知的障がいのある子どもの自立活動をメンタルヘルスの視点から考える～

期日：令和6年9月25日（水）13：20～16：40

オンラインにて実施（各所属校等で参加）

対象：小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校の教職員

講師：信州大学教育学部准教授 しもやま ま え 下山真衣先生



知的障がいのある子どもの思春期・青年期におけるメンタルヘルスの不調に関する基本的情報について一緒に学びませんか？事例などを基に理解を深めたり、学校現場において実際に指導・支援を担う教職員の役割について考えたりします。

たくさんの先生方のご参加をお待ちしています。
研修情報システムを通じてお申込みください。



来所教育相談のご案内

友だち関係がうまく
いかなくて…

学校に行けなくて…

学校教育や家庭教育に関する様々な不安や悩み、
心配事はありませんか？

わたしたちが一緒に考えさせていただきます。
どうぞお気軽に、ご連絡ください。
お申し込みは、下記の電話番号で受け付けます。

子育てが思い通りに
いかなくて…

発育・発達が
気になって…

島根県教育センター

松江市内中原町 255-1

☎0852-22-5876

相談日：毎週火曜日～金曜日

時 間：9:00～17:00

浜田教育センター

浜田市長沢町 1550-1

☎0855-23-6784

相談日：毎週月曜日～金曜日

＊水曜日は午後のみ

時 間：9:30～17:00

“こころ・発達”教育相談室

出雲市下古志町 1574-4

☎080-0200-1556

相談日：毎週水・金曜日

時 間：9:00～16:50

○**幼児から高校生まで**の子どもと保護者が対象です。

継続的に相談に通っていただいています。

○保護者の了解のもと、来所児童生徒に関する**教職員対象の相談（コンサルテーション）**もおこなっています。

○相談は**無料**です。相談内容についての**秘密**は守ります。



ホームページ
はこちら→



島根県教育センター 教育相談

検索